

「パパ育キャンプ」報告

令和元年9月21日（土）～9月22日（日） 1泊2日

【目的・趣旨】

幼児の自然体験活動の機会を拡大させることを目的に、保護者及び幼児教育関係者に自然の中でのプログラムを体験してもらう。プログラムの楽しさや危険性、活動を通じた体の動きを実感してもらい、幼児教育の現場での実践に繋げる。

なお、昨年度の父親対象事業実施時に参加者から挙げた「父親同士の交流の場が乏しい」「子育てについての学びの場が欲しい」等の声を参考に、幼児と父親を対象とした事業とする。



【連携先】

郡山女子大学短期大学部

【募集対象／実績】

《募集対象》3歳以上の未就学児とその父親

《実績》9家族19名申込、8家族17名参加（大人8名、子供9名）

【プログラム概要】

【1日目】令和元年9月21日（土） 天候：曇り

- 9:30 集合・受付 [玄関ホール]
- 10:00 はじめの会 [わくわくひろば]
自己紹介等アイスブレイクを交えて実施。
- 10:30 自然体験活動 なすかしの森ミニトレイル
幼児がハイキングするにあたって程よい距離のコースを設定し、コース内には「木登り」や、「松ぼっくりを投げてバケツにあてる」などのミッションを設置。36の動きを意識したミッションを設置した。
- 12:00 昼食 [食堂]
- 13:00 対象別プログラム
- ① 大人向けプログラム
講話「自然の中での遊びから期待できる効果」[学習室②]
- ② 幼児向けプログラム
「ボランティアスタッフと遊ぼう！」[わんぱくルーム]
- 15:00 テント設営 [ピロティ、わくわくひろば]
- 17:20 夕食 [食堂レストラン]
- 18:30 ボンファイヤー [わくわくひろば]
日中の活動による参加者の疲労度を考慮し、当初予定していたナイトハイクを中止し、ボンファイヤーのみ実施。火を囲んで焼きマッシュマロを食べた。
- 20:00 入浴 [浴室]
- 21:00 就寝 [わくわくひろば内テント]
パパカフェタイム
就寝後、希望者する保護者のみで焚き木を囲んでのフリートークの時間を設けた。

- 6:30 朝食準備 [わくわくひろば]
朝食にするカートンドッグの準備をした。
- 7:00 朝のつどい [プレイホール]
- 7:20 朝食 [ピロティ]
ピロティ正面池の金魚を見ながら外での朝食。
- 8:00 テント撤収 [わくわくひろば]
家族間で協力しながらテントや寝袋等、使用した用具の清掃、撤収作業を行った。
- 9:30 アウトドアクッキング [野外炊事場]
メニュー…ローストチキン、やきそば
- 13:30 おわりの会 [野外炊事場]
- 14:00 解散

【成果】

- ・事業の冒頭で、家族間で協力してプログラムに取り組むように促した。テント設営や野外炊事など、親子のみでは達成が困難なプログラムにおいて、特に積極的に協力する姿が見られた。プログラム以外でも、空き時間に雑談をするなど父親同士の交流が見られ、情報交換の機会と提供することができた。
- ・テントの物品運びや野外炊事での野菜切りなど、個々のできるレベルに応じてプログラムに取り組めるよう声掛けをしながら事業を進めた。体力や自分でできることの範囲に個人差が大きい年齢の参加者であったが、それぞれが役割を見つけ取り組むことができた。
- ・ボランティアスタッフとして、連携先である郡山女子大学短期大学部より幼児教育学科の学生に参加してもらった。事業全体の運営が円滑になったことはもちろん、学生自身の学びの場としても有意義な経験となった。

《参加者の声》

「こんなに自然のなかで長時間遊ぶことがないので、親子共々楽しめた。」「子供も私自身もとても楽しむことができ、多くを学び感じる事ができました。」「この内容でこの参加費の安さが信じられません。また参加したいです。」「年上の子たちと遊ぶことで、積極性が普段よりましていたと思いました。」「柴田先生（郡山女子大学短期大学部）の体験、経験談がとても興味深く、勉強になりました。」等

【課題と方策】

- ・参加対象として幼児教育に関わる指導者にも広報をかけていたが、集めることができなかった。近隣の保育園・幼稚園等で運動会当日もしくは、翌週に控えている園が多くあり、園での業務が多忙であったことが原因の一つであると考えられる。今後指導者向けの事業を行う上で、近隣の対象者が勤務するであろう園等にヒアリング調査をしっかりと行い、参加者が確保できるよう改善を図る。

国立那須甲子青少年自然の家【作成】事業推進係：岩谷 香



※以下、各プログラム内容詳細

【なすかしの森ミニトレイル】

下記のようなミッションをコース中に掲示した。

- ・松ぼっくりをバケツに投げ入れる
- ・松ぼっくりを木にぶら下げたバケツにあてる
- ・木登りチャレンジ
- ・木の実を拾う
- ・わくわくひろばのアスレチックをコンプリートする
- ・石を3個積み上げる

ミッションをクリアしながら各々ゴールを目指す中で、多様な動きを取り入れた。

活動中に期待できる 36 の動き



【テント設営、撤収】

テント備品の他、寝袋や銀マットなどテント泊に必要な物品も参加者で手分けして運んだ。「自分のことは自分で」の声掛けのもと、設営、撤収作業を行い、多様な動きを取り入れつつ自立心を育めるプログラムとして計画した。

【アウトドアクッキング】

メニュー：焼きそば、ローストチキン

材料や食器を運ぶ段階から片付けまで、参加者全員で取り組むことで、多様な動きを自然と取り入れられるようにした。

火おこしや、材料切りや盛り付けなど、個人個人の興味のある役割を担当し、自主性を持ってプログラムに取り組めるよう促した。

活動中に期待できる 36 の動き



活動中に期待できる 36 の動き

